こんにちは 中根さちの ハーフレター

日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース
県議会控室 823-9524　高知市丸の内1-2-20
自宅 872-9824　高知市福井西町1475-3
2018. 3. 25
NO. 554

県議会閉会 3/20

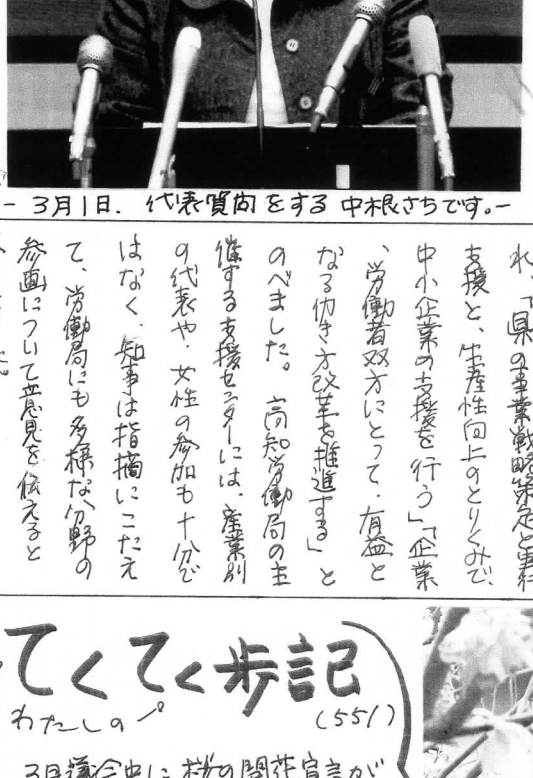
100件の議案審議が行なわれた3月。2/22～3/20までの議会が閉会しました。

日本共産党は、代表質問2人、一般質問2人、国への意見書議案「子どもの医療費と国保の子どもに係る均等割保険料(税)の負担軽減を国が行うことを求める」を提案。全会一致で採択されました。他に「洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書」も、全会一致で国におくられました。

代表質問の中から

「働き方改革は、働く人の命を守るものにすべき。」

国会で政府提出の「働き方改革をめぐって、「高度プロフェッショナル制度」



－3月1日、代表質問をする 中根さちです。－

「子育て応援の人的配置を」

子どもの社会参加の一歩となる保育園に入れない待機児童は、全県で200人をこえました。保育士がくほと、保育環境をよりよくすることを求めました。

又、学校では、臨時教員が不足し、正規の先生の病休などに十分対応できない実態も。

保育園も、学校も、正規採用をふやし、本物の子育て応援をもとめました。

などがあり込まれた法案に反対の立場から質問を行ないました。

知事は、2018年度に、高知労働局が「働き方改革推進支援センター(仮称)」を設置することにふれ、「県の産業戦略策定と表裏一体の支援と、生産性向上のとりくみで、中小企業の支援を行う」「企業、労働者双方にとって、有益となる働き方改革を推進する」とのべました。高知労働局の主催する支援センターには、産業別の代表や、女性の参加も十分ではなく、知事は指摘にこたえて、労働局にも多様な分野の参画について意見を伝えると答えました。

「林業振興のためにも、専門知識と権限」

をもった フォレスターの育成を

84%(県土の)をしめる森林県である高知にとって、森林整備と、その産業化はさけては通れません。答弁にたった田所林業・環境部長は、フォレスターの登録者数をふやし、地域の実情にみあった多様な森林整備を進める」とのべました。

てくてく歩記 わたしの (55/)

3月議会中に桜の開花宣言があったものの、外をゆっくり見る間もなく日がすぎています。3月31日にお花見をしようとあちらでもこちらでも計画をしているのに、これでは、きっと〝葉っぱ見の会〟になりそうですね。

昨年は、まだ花もちらほらの寒い公園でお弁当をひろげていた事を思いだしました。

自然とのつきあいは、カレンダー通りにはいきません。

国会は、森友学園問題をめぐって、大もめ。その審議の中で、法律や民主主義をふみにじる暴言も次々とび出すしまつ。〝おごれる政治は久しからず〟の言葉が頭にうかびます。